

**れいこさんとけいこさんの  
活動日誌**



このコーナーは、食育などを通じた女性農業委員の活動を紹介します。

水田にたつぷりの水が張られ、整然と植えられた稲の苗が風に吹かれ、水面で揺れる風景を見ると、何か不思議な生命力を感じます。

私達女性農業委員が平成26年7月からスタートして、早くも3年を終えようとしています。先輩の大島芳子委員の指導の下、私達のすべきことは何だろうかと話し合い、生きていく上で最も大切な「食農教育」に取り組んでいこうと決めました。そこで、3年間の食農教育活動を振り返ってみたいと思います。

平成26年9月、地域のキャンプ場に来ていた若者達と一緒に、地域のまんじゅう作りの名人の手解きを受け、地元で採れたかぼちゃと小麦粉

を使い、かぼちゃまんじゅうを作りました。

平成27年5月、牧場に小中学生を募り、搾りたての牛乳でチーズ作りの体験、10月には田代友愛小学校児の稲刈り体験の取材をしました。

平成28年9月、黒田原小学校で子供達といっしょに給食の試食、そして大島委員がこの日のために育てたバケツ稲を用い、子供達に「お米のできるまで」を、編集委員全員で説明しました。

今回の体験を通して、地元産の作物を使って自らの手で作ったものを食すことの喜びを感じて貰えたなら幸いです。

他にも、女性農業委員の研修会や意見交換会等様々な研修会へ参加させて頂きました。たくさんの方と情報交換をし、共に学び、成長できたことを嬉しく思います。

私達の活動に助言、ご協力いただいた皆様と、農業委員として活動した3年間に感謝して、新委員さんにバトンタッチできればと思います。



地元の小中学生とチーズ作り体験



地元で採れた作物を使ってのまんじゅう作り

## 編集後記

編集委員 池澤 敬子

どこの地域でも田植えが終わったようですね。お疲れ様でした。

さて、農業委員も7月から新体制で始動します。新委員さんには新たな業務も加わり大変だと思えますが、那須町の農業振興のために大いに力を発揮していただければと思います。現在の編集委員も今回の62号をもって終了となります。3年間「たがやす」の発行に当たり、取材や記事の提供にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。今後も微力ながら農業振興のために少しでもお役に立てたらと思っております。

これから農作業に忙しい季節となつてきますので、健康に十分気を付けて従事されますようお願いいたします。

編集委員長 池澤 敬子  
編集委員 高柳 文浩

大平 康市  
松浦 一雄  
摩庭 令子